

一般質問

今定例会における一般質問は、3月7日・8日の2日間にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人が要約したものです。)

市政を問う!!

飯島 一志 議員 (6ページ)

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について
- 小規模特認校について

野本 泰生 議員 (7ページ)

- 市道の整備について
- 防犯カメラの設置について

堀口 きく枝 議員 (7ページ)

- 不登校児童生徒への支援について
- ヤングケアラーの支援について

平井 玲子 議員 (8ページ)

- 子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン) について
- 公共施設等における防犯カメラの設置について

岡野 陽子 議員 (8ページ)

- 新型コロナワクチンの接種状況等について
- 物価高騰対策支援事業におけるクオカードの配付について

小林 但弥 議員 (9ページ)

- 带状疱疹ワクチンについて
- 館林まつりについて

岩上 博志 議員 (9ページ)

- 令和4年度の館林市教育行政方針 (義務教育課程) の検証について
- 教職員の多忙化解消に向けた取組について

田辺 純子 議員 (10ページ)

- 不登校児童生徒への対応について

篠木 正明 議員 (10ページ)

- 有機農業の産地づくりについて

齊藤 貢一 議員 (11ページ)

- 人口減少問題への対策について

吉野 高史 議員 (11ページ)

- 教育行政について
- 財政運営について
- 選挙公約について

※一般質問通告書の質問事項を掲載



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動・小規模特認校について

飯島 一志 議員



質問 市内全校に導入された経緯について伺います。

答弁 まず、平成30年度、

第四小学校を本市のコミュニティ・スクール指定校とし、その後、段階的に増やし、令和4年度より、市内全16校がコミュニティ・スクールになっていきます。

質問 取り組み状況について伺います。

て伺います。

答弁 各校の実態に応じ学校運営協議会を開催、いわゆる熟議という会議を行い、保護者、地域の方などの教育力を生かし、連携した地域学校協働活動を各校で行なっています。

質問 問題点や課題について伺います。

て伺います。

3月7日

答弁 導入に係る課題については2点あります。1点目は、学校運営協議会の委員が複数の学校で重複していることです。校長や公民館長が複数の学校で委員となっており、業務の負担増につながっています。2点目は、CSディレクターの業務負担と任用の難しさです。16校となった今年度は、負担が増しています。

質問 今後の取り組みについて伺います。

答弁 1点目は、保護者、

3月8日

推移について伺います。

答弁 導入当初の平成31年は5名、その後、令和2年が6名、令和3年が7名と推移し、令和4年が10名で、全児童数は60名となっています。

質問 小規模特認校の今後について伺います。

答弁 少人数による目の行き届いた教育、個に応じた指導の一層の充実、小規模校のメリットを生かした個別最適な学びを計画的に進めたいと考えています。

質問 小規模特認校児童の